

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 工事再開に抗議「辺野古も撤回せよ！」



基地に向かって抗議のシュプレヒコールを繰り返す県民（18日）

防衛局は、県議選が終了するのを待っていたかのように12日から辺野古新基地建設工事を再開しました。「オール沖縄会議」は、感染症対策をとりつつ本格的な抗議行動を再開。15日は県議選で当選した共産党7人全員など、与党県議にも参加、約50人がゲート前で「違法工事は中止しろ！」などとシュプレヒコールを繰り返しました。

**感染症対策も配慮しつつ抗議続く**

18日も50人ほどがゲート前に集合。防衛省がイージスアショアの配備計画を「コストと期間」を理由に撤回したことを受け、ヘリ基地反対協・仲本興真事務局長などが、「辺野古新基地は軟弱地盤などでコストも工期もアショアの何倍にもなる。完成するめどさえ立ってない。辺野古新基地建設こそ撤回せよ」と訴えました。参加者は、元気にシュプレヒコールと闘いの歌を響かせました。

コスト・期間はアショアの何倍にもなる

## 新基地阻止の民意「岩盤のよう」



**辺野古反対61%、内閣支持18%**

琉球新報社などが16日までに県民の意識調査を行った結果が発表されました。その結果、普天間基地は、撤去・県外・国外移設が合わせて約7割、辺野古新基地建設反対が61%を占めました。安倍内閣の支持率は18%で不支持率は66%。玉城デニー知事の支持率は61%台でした。政党支持率は自民党の18%台で次は共産党の約9%でした。

江上能義琉大名誉教授は「県民の（辺野古）反対の意思は岩盤のように堅い。イージスアショアが停止された。なぜ沖縄だけが無視され続けるのか。県民は納得できないだろう」と論評しました。



←琉球セメント  
→ 7月17日  
→ 9カヌー  
→ 17日

## 海上からの抗議活動も再開

→ 辺野古の護岸上で  
赤土を運ぶトラック  
にカヌーや抗議船から  
抗議（15日）



## BLACK LIVES MATTER のスローガンも掲げて 島ぐるみの会が安里交差点でスタンディングを再開

那覇市の「安里・大道・松川島ぐるみの会」は15日、定例スタンディングの第195回目を25人が参加し、安里交差点で行いました。この日、辺野古新基地建設工事を再開した安倍政権への抗議のスローガンとともに、いま世界的な運動となっているBLACK LIVES MATTER（黒人の命も大事）のスローガンも掲げ、通行人から注目されました。

### デニー知事支える「オール沖縄」の結束力に確信

同スタンディングは5月以降、コロナ感染症予防のため自粛していましたが、県議選直後の8日、県議選那覇市区でトップ当選を決めた翁長雄治氏を迎えて再開しました。参加者は県議選でデニー県政の与党が過半数を獲得した超党派の「オール沖縄」の結束力に確信を持っています。同島ぐるみの会のスタンディングは16年9月から毎週月曜日（午前8時～）に取り組み、毎回平均30人の地域住民が参加。7月20日には区切りの200回目を迎える予定です。

